

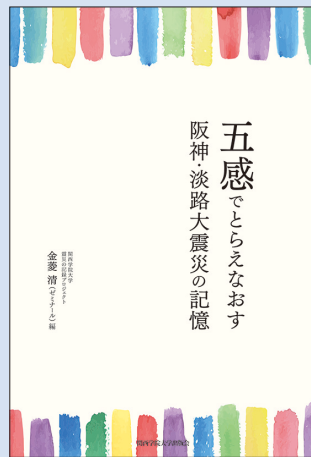
災禍の聞き取りを 本にする

出版プロジェクトから考える
教育と研究の未来



コロナ禍の声を聞く
大学生とオーラルヒストリーの出会い
安岡 健一 監修 / 大阪大学日本学専修
「コロナと大学」プロジェクト 編集

「本を出版する」ことの意義を語り合う
学生による聞き取りをまとめて
「災禍の声を聞く」ことの意味と、



五感でとらえなおす
阪神・淡路大震災の記憶
関西学院大学 震災の記録プロジェクト
金菱清 (ゼミナール) 編

2024

3月20日(水祝)

13:30(開場 13:00) ~ 16:00

【会場】 デザイン・クリエイティブセンター神戸
KIITO: 3F 会議室 303

【入場無料】 定員80名

【申込方法】 事前予約制

右の二次元コードまたは
下記 URL からお申し込みください。
<https://forms.gle/bFfskhHSVR4KTQrz9>
どなたでもお気軽にご参加下さい。



【開催趣旨】

私たちはこんにち、相次ぐ大災害に翻弄され続けています。その中で、多くの組織により、膨大な報告・報道が日々作成されています。ただ、それらの客観性や普遍性を重視する記録からは取りこぼされるものもあるのではないのでしょうか。

学界では、個人の経験・思いを聞き取りによって記録する「オーラルヒストリー」という手法が近年注目を集めています。今回、関西学院大学の金菱清ゼミでは阪神・淡路大震災について、大阪

【プログラム】 13:30~14:50

- ◆ 学生からの報告
- ◆ 教員と学生の対話
<10分休憩>

15:00~16:00

- ◆ 座談会
- ◆ 質疑応答(フロアから)
※当日会場にて書籍販売あり



やすおか けんいち
安岡 健一

大阪大学大学院人文学研究科 准教授
1979年神戸生まれ。専門は日本近現代史。
近年は地域の歴史資料の収集・保存・活用やオーラルヒストリーの研究・教育に関心を広げている。



かねびし きよし
金菱 清

関西学院大学社会学部 教授
1975年大阪生まれ。専門は災害社会学、環境社会学。東日本大震災や阪神・淡路大震災など、被災地のフィールドワーク・研究に長年取り組む。

大学の日本学専修ではコロナ禍について、学生が中心となって市井の人々に聞き取りを行い、その成果は昨年書籍として結実しました。

本イベントでは、プロジェクトにあたった研究者と学生が登場し、「災禍の声を聞く」ことの意味と、学生が聞き取りを実践し、「本を出版する」ことの意義を話し合い、あわせて本プロジェクトのエピソードや苦勞、思いを語ります。

【主催】

大阪大学出版会
関西学院大学出版会

【共催】 大阪大学大学院人文学研究科現代日本学研究室

【問合せ先】

06-6877-1614
0798-53-7002

吹田市山田丘 2-7 大阪大学エストフロント
eigy@osaka-up.or.jp
西宮市上ヶ原一丁目 1-155
kwansei-up@kgup.jp

【会場アクセス】

兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4
三宮からフラワーロードを南へ(徒歩20分)
神戸市バス: 29系統 三宮駅ターミナル前より乗車。
祝園前下車 祝園前経由出陣塚頭行き(4分)
連絡バス: 神戸阪急前より乗車、KIITO前下車(4分)
(Part Loop)

